

計画の名称	より安全で快適なまち及び良好な環境づくり(第2期)											
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	小金井市											
計画の目標	安全、快適なまちを目指し、良好な環境を創造する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	356	A	356	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	総合地震対策計画に基づき重要路線等の耐震化率を15%(H27)から21%(H31)にする。 重要路線等の耐震化率 耐震化済延長/全体計画の耐震化延長	15%	18%	21%
2	下水道管渠の長寿命化対策実施率を0%(H27)から6%(H31)にする。 下水道管渠の長寿命化対策実施率 対策対象路線のうち、長寿命化対策不要及び対策が行われた管渠延長/対策対象路線管渠延長	0%	2%	6%
3	ストックマネジメント計画に基づく管きよ更生工事の実施率100%を目指す。 計画により抽出された管きよ更生工事実施率 管きよ更生工事実施延長(km)/管きよ更生工事必要延長(km)	0%	0%	100%

備考等	特別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	-----------------------	---------	---	----------	---	------------	---

A基幹事業	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施策計 画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
												一体的に実施することにより期待される効果							
備考																			
下水道事業	A007-001	下水道	一般	小金井市	直接	小金井市	管渠 (合流)	改築	総合地震対策計画 (地震対策)	詳細設計	小金井市	■					18	策定済	
	総合地震対策計画、種別に「分流含む」																		
	A007-002	下水道	一般	小金井市	直接	小金井市	管渠 (合流)	改築	総合地震対策計画 (地震対策)	計画策定(第3期)委託	小金井市				■	■	28	策定済	
	総合地震対策計画、種別に「分流含む」																		
	A007-003	下水道	一般	小金井市	直接	小金井市	管渠 (合流)	改築	総合地震対策事業 (地震対策)	人孔接続可とう化219箇所、 マンホールトイレ40基	小金井市		■	■	■	■	156	策定済	
	総合地震対策計画、種別に「分流含む」																		
	A007-004	下水道	一般	小金井市	直接	小金井市	管渠 (合流)	改築	長寿命化計画(改築更新)	基本計画作成・調査診断・ 計画策定委託	小金井市	■	■	■			86	未策定	
	長寿命化計画、種別11に「分流含む」																		
	A007-005	下水道	一般	小金井市	直接	小金井市	管渠 (合流)	改築	長寿命化対策事業(改築更 新)	長寿命化対策工事	小金井市			■			60	未策定	
	長寿命化計画、種別11に「分流含む」																		
	A007-005	下水道	一般	小金井市	直接	小金井市	管渠 (合流)	改築	ストックマネジメント事業(改 築更新)	計画策定、管きょ更生(0.1 km) 蓋更新(76箇所)	小金井市				■	■	62	策定済	
	ストックマネジメント計画、種別11に「分流含む」																		
											小計						356		
											合計						356		

事後評価

○事後評価の実体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
小金井市公共下水道審議会にて実施	令和3年3月
	公表の方法 小金井市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断を行い重要な幹線等の耐震性能を確認したことにより計画的な耐震化を行うことが可能となった。 調査を行い管きよの状態を把握した結果を下水道ストックマネジメント計画に引き継ぎ下水道の予防保全に寄与した。 改築が必要な施設に管きよ更生工事を施工し管きよのライフサイクルコストの低減を図り、陥没等の事故を防止した。
定量的指標以外の交付金対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> マンホールトイレシステムを設置し避難所のトイレ機能を確保した。

○特記事項(今後の方針等)

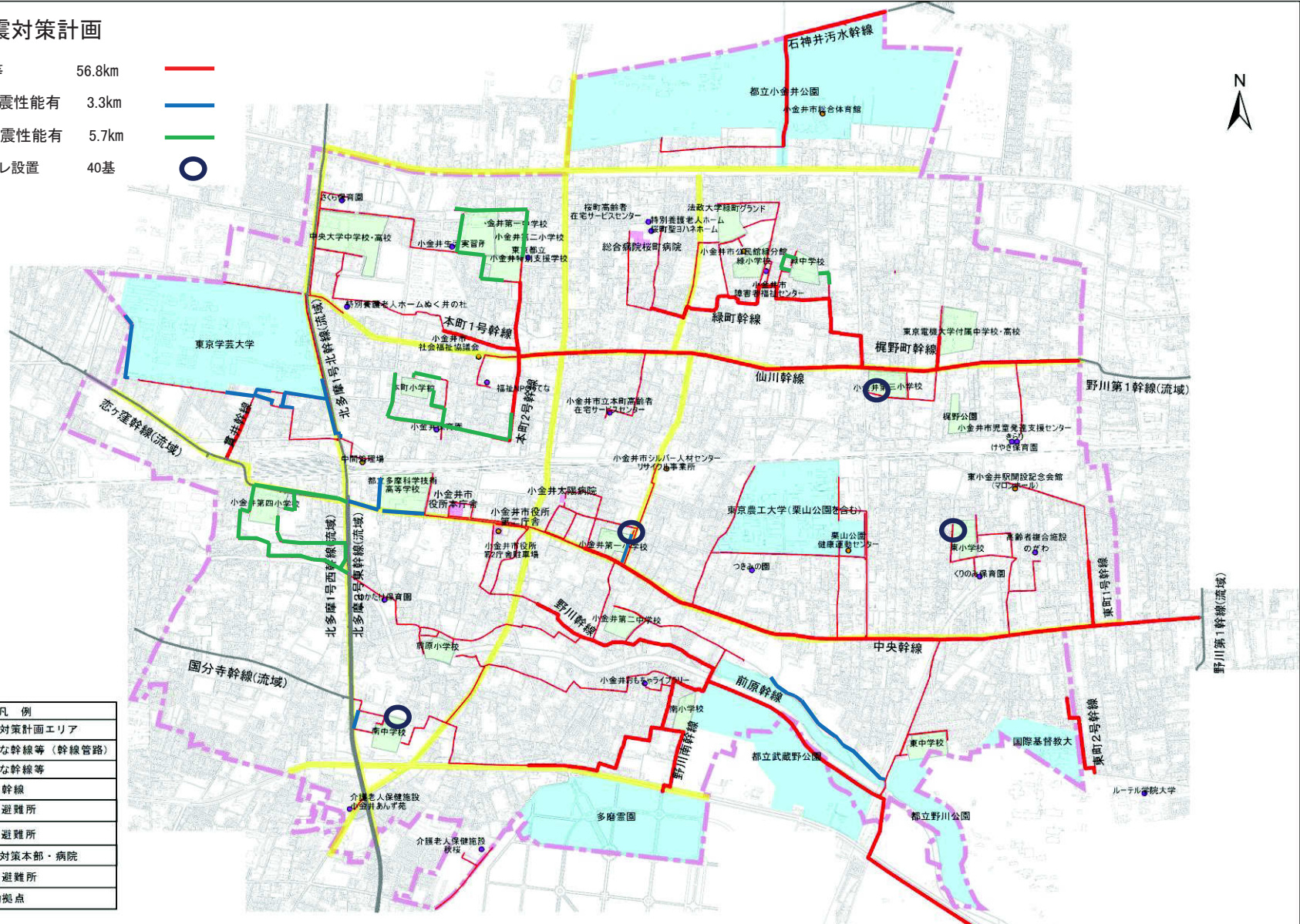
・次期社会資本整備総合計画に基づき重要な幹線等の耐震診断及び施設の耐震化を図り、管きよ施設の計画的な維持管理を行っていく。

○目標値の達成状況

番号	指標(略称)		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値/実績値		
1	最終 目標値	21%	当初計画していた以外の重要な幹線等の管きよについても耐震診断を行い耐震性能が確保されていることが確認できたため。
	最終 実績値	30%	
2	最終 目標値	6%	
	最終 実績値	6%	
3	最終 目標値	100%	
	最終 実績値	100%	

総合地震対策計画

- 重要な幹線等 56.8km —
- 耐震診断 耐震性能有 3.3km —
- 追加路線 耐震性能有 5.7km —
- マンホールトイレ設置 40基 ○



凡例	
---	耐震対策計画エリア
—	重要な幹線等 (幹線管路)
—	重要な幹線等
—	流域幹線
	広域避難所
	指定避難所
	災害対策本部・病院
●	二次避難所
●	活動拠点

下水道長寿命化計画・下水道ストックマネジメント計画 調査路線及び改築箇所

潜行目視調査延長 L=14.8 km
 管きょ更生工事 L=132.8m
 マンホール蓋交換 76箇所



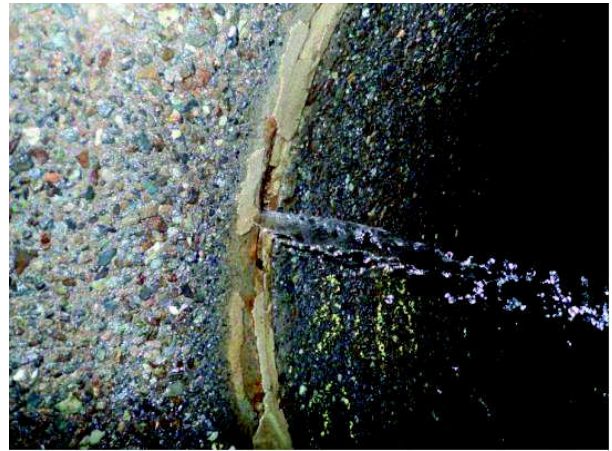
凡 例	
	改築(更生工法)
	幹線管きょ(健全)

下水道長寿命化計画 ・ スtockマネジメント計画

1 潜行目視調査



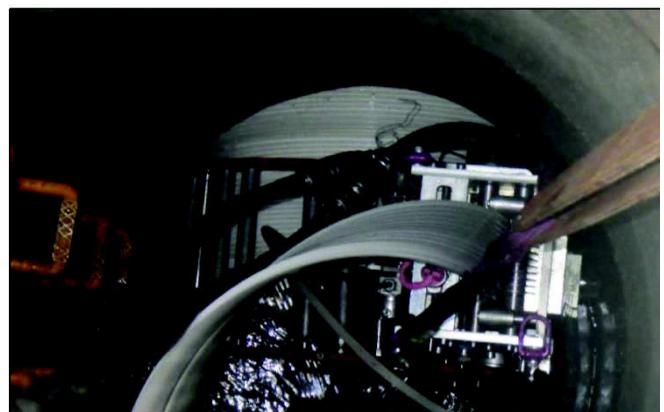
2 管きょ内異常箇所 腐食B 侵入水a



3 管更生施工前(製管工法)



4 管更生施工中 製管(元押し式)



5 製管及び裏込め完了



6 管更生(製管工法)完了

